

(1) 認定団体桜台親和町会からのメッセージ

桜台親和町会は2014年4月東京防災隣組認定団体として認定されましたが、主たる防災活動は町会レスキュー隊によって実施されています。これから防災活動を始めの方々に我々レスキュー隊の発足経緯および10年間の活動が参考になればと思い、ご紹介致します。

2004年1月、前町会長が阪神淡路大震災から9年目のNHK特集テレビ番組を見て、大震災の際、自分たちの地域は自分たちで守るしかないとの教訓を聞き、自主防災組織の立ち上げに取り組み、3月に「レスキュー隊員」を募集した。しかし、ほとんど集まらなかったため、まず、高い関心を持つ町会員から知人を紹介してもらい、町内の一軒一軒を回って粘り強く必要性を説得し、90数名の隊員を集めることができた。さらに町会員に対する説明会を町内ブロックごとに4回行い、9月には区役所にて区長も迎えて発会式を行うという大きな目標を宣言し、隊員とともに、防災活動の基礎固めに取り組んだ。

翌年、活動は現町会長に引き継がれたが、新たに町会員全員参加の祭りである「安全・安心きずな祭り」を立ち上げ、レスキュー隊員のみならず、防犯パトロール・清掃隊員や地域住民の一人ひとりが顔見知りになり、気軽に声をかけられるきずな作り活動を開始し、本年、第9回目の開催に至り、きずなも強まってきた。

2006年5月には、練馬、光が丘、石神井の三警察署および練馬区建物解体業協会各社の出席のもと、相互協力協定を結んだ。この協定は大きな災害が起こったときに練馬区の災害対策本部や区の避難拠点や町会、警察からの被害状況情報に基づいて協定団体の加盟各社の皆さんが保有している重機、搬送ツールを災害各所に派遣して警察とともに人命救助等の災害救助活動を迅速に開始できるようにするものです。

これと併せて、地域の中学校・PTA・近隣地域町会による避難拠点防災合同訓練を開始し、こちらも第9回の開催を迎えるに至った。この訓練により、地域住民の防災活動意識向上だけでなく、中学生にも助ける側の意識が定着してきた。

この他、毎年、練馬警察署・消防署レスキュー隊と町会レスキュー隊の合同訓練や防火訓練を企画し、「助かろう・助けよう」のスローガンのもと、万能電動カッターを用いた倒壊家屋からの人命救助シミュレーションを実施し、防災技術向上を図っている。また、東日本大震災後、放射線測定機器や防災無線機を導入し、定期的に知識教育や操作訓練を行なうとともに、ブロックごとのデータ集積や会員への結果報告を実施し、災害のみならずテロや有事にも備えている。

ご紹介した様々な防災関連活動の詳細については、当桜台親和町会のホームページレスキュー隊欄をご覧ください。記事の中に訓練等の動画リンクも盛り込んでありますので合わせてご参照下さい。

我々の防災活動が少しでも、皆様のご参考になれば幸いです。

桜台親和町会①ホームページおよび②レスキュー隊欄リンクアドレス。

① <http://www.choukai.com/shinwachoukai/>

② <http://www.choukai.com/shinwachoukai/resq.html>